

参考様式1

農山漁村振興交付金(農山漁村活性化整備対策)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ひょうごけん・あわじし 兵庫県・淡路市(代表)	令和3年度～令和6年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
市民生活部生活環境課	0799-64-2523	0799-64-2565	awaji_s_kankyou@city.awaji.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
子ども農山漁村交流の促進	<p>生穂・佐野地域は、少子高齢化、小学校の廃校などにより、人口減少への歯止め、賑わいの創出が地域の課題となっている。</p> <p>一方で、農山漁村の豊かな景観や、八浄寺、小井の清水など地域の魅力が多く存在し、過疎地域にしかない自然・人間味豊かな環境が今も残っている。</p> <p>よって、都会と農村を結びつけるさまざまな取り組みにより、田舎の魅力を体感してもらえるきっかけづくりを通して、交流人口の増加を図る。</p> <p>特に、子どもと農山漁村の交流促進を図ることは、家族ぐるみでの参加や、将来の田舎暮らしが想定され、賑わいの創出、ひいては定住人口の増加に資する取り組みとして重要となっている。</p>

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
交流人口の増加	34,000人/年	計画区域における交流人口の増加数(人) = (計画区域外からの入込客数(人)【目標値】 - 計画区域外からの入込客数(人)【現状値】)
<p>第1評価指標の設定根拠</p> <p>今回計画する都市と農村を結びつけるさまざまな取り組みに関する入込客数を予測し目標を立てる。 (【目標値】277,668人/年) - (【現状値】243,516人/年) = 34,152人/年(令和6~8年度の平均値) ※目標値の内訳 R6年度 26,587人、R7年度 37,255人、R8年度 38,615人 ※現状値の内訳 H29年度 236,750人、H30年度 247,435人、R1年度 246,363人</p>		
第2評価指標(任意)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
第2評価指標の設定根拠		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
子どもと農村の交流機会の増加	3回/年	計画後の取組数(目標) - 計画前の取組数(実績)
<p>第3評価指標の設定根拠</p> <p>地域における事業の実施を契機とし、子どもと農村が交流できる取り組み(観光地引網、収穫祭、夏冬野菜植え付け・収穫体験等)の増加を図る。 【現状値】0回/年 【目標値】3回/年(令和6~8年度の平均値)</p>		
評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)	
令和6年4月~令和9年3月	令和9年	

Ⅲ 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
農林漁業・農山漁村体験施設(農林漁業・農山漁村体験施設)	野田尾地区	滞在型市民農園を整備	滞在施設5棟 (59m2/棟) 計画区域4,070m2 外構一式	令和3年 ～ 令和5年	淡路市	121,974	50,209	1/2	50,209	農家体験施設を整備することで、交流人口の増加、遊休農地の解消を図ることができる。さらに中長期的な視点で、担い手確保や定住人口の増加も見込まれる。	
地域資源活用総合交流促進施設(地域連携販売力強化施設)	興隆寺地区	農家レストランを整備	レストラン1棟 (110.2) 外構一式 駐車場620m2	令和3年 ～ 令和5年	合同会社興隆寺	127,650	19,838	1/2	19,838	農家レストランを整備することで、地域資源の提供(地産地消の推進、農水産品の販売促進、ブランド化、販路拡大)を促すとともに、交流人口の増加を図る。	
農林漁業・農山漁村体験施設(農林漁業・農山漁村体験施設)	興隆寺地区	滞在型市民農園を整備	滞在施設5棟 (84m2/棟) 計画区域6,064m2 外構一式	令和3年 ～ 令和5年	淡路市	184,636	76,014	1/2	76,014	農家体験施設を整備することで、交流人口の増加、遊休農地の解消を図ることができる。さらに中長期的な視点で、担い手確保や定住人口の増加も見込まれる。	
自然環境等活用交流学習施設(自然環境保全・活用交流施設)	興隆寺地区	キャンプ場を整備	キャンプサイト15 区画 管理棟、炊事棟、 トイレ・シャワー棟 外構一式 人道橋一式 駐車場510m2	令和3年 ～ 令和5年	淡路市	266,970	83,783	1/2	83,783	キャンプ場を整備することで、交流人口の増加、遊休農地の解消を図ることができる。さらに中長期的な視点で、定住人口の増加も見込まれる。	
地域住民活動支援促進施設(高齢者・女性等地域住民活動・生活支援促進機械施設)	興隆寺地区	交流・地域住民活動促進のための研修施設を整備	交流研修施設1棟 124.79m2	令和3年 ～ 令和5年	淡路市	69,251	18,094	1/2	18,094	交流・研修施設を整備することで、農山漁村と京阪神からの来訪者の交流を促進し、研修・交流機会の提供、賑わいの創出を図ることができる。さらに、地域文化の伝承や地域住民の活動促進を図ることによる相乗効果によって、地域が活性化される。	
地域資源活用総合交流促進施設(地域連携販売力強化施設)	佐野地区	旧佐野小学校校舎1階に水産物処理加工施設及びそれに付随する産直コーナー、カフェスペース併設	旧校舎1階部分を 利活用 1階928m2 外構一式	令和3年 ～ 令和4年	株式会社さの小	248,722	100,154	1/2	100,155	水産物処理加工施設を整備することによって、新たな雇用を創出し、地域資源の販売力強化を図る。事業の創意工夫により、見える工場、体験できる工場を整備し、一次産業に触れる機会を提供するとともに、交流人口、定住人口の増加を図る。	
附帯事務費 工事雑費		会計年度任用職員給与費				7,401	3,699	1/2	3,700		
合 計						1,026,604	351,791		351,793		

IV 他の施策との連携に関する事項

連携する施策名	事業メニュー名	地区名	連携する施策と交付対象事業の関連性等

